

いなみ町

議会だより

No.93
2022.4

令和4年 第1回定例会等

議案審議 …………… P2～P5 一般質問(6名が登壇) …… P6～P11
団体紹介 …………… P12

才の川観音(美里)

1月26日、2月18日に臨時議会を開会し、2件の議案を可決しました。

3月の定例会は10日に開会、22日に閉会。議案21件、諮問1件、発委1件、発議1件ですべて承認、可決しました。

オールいなみ元気にかえる応援券(第3弾)

「飲食・テイクアウト用」に1万円、「全店舗・全商品用」に4万円分の計5万円分の応援券を5月のゴールデンウィークまでに各世帯に配布します。

国民健康保険税条例の一部改正

国保税の値上げとあわせて子どもにかかる均等割の減額、子育て世代の支援も行います。

質疑 1世帯当たりの平均増加額はいくらですか。

答弁 税務課長

単純計算で約2万1千円ほどの値上げとなります。

印南町農業用施設燃油緊急対策事業補助金

質疑 事業の詳細説明を求めます。

答弁 企画産業課長

令和3年11月から令和4年3月までのA重油の購入量に1ℓ当たり、13円を補助します。申請をしていただく必要があります。

質疑 町外で購入したA重油も対象ですか。

答弁 企画産業課長

印南町内在住であれば、町外で購入しても対象となります。

質疑 予算が足りなくなった場合はどうするのですか。

答弁 企画産業課長

昨年度の使用量について経営体の方々に調査をしています。調査の結果、110万ℓということ、多めに予算を見積もっていますので、算定の枠内で収まると考えています。

新年度一般会計予算

質疑 自然災害等、予想もしなかったような事が起きた場合の財源確保についてはどうするのですか。

答弁 総務課長

財政調整基金(令和2年度末現在で24億2千万円)の積み立てがあるので、有事の時はこれに対応します。

質疑 町税というのは、一般会計の根幹をなす収入です。個人住民税が増額の見込みの予算計上となっていますが、この要因についてどう考えていますか。

答弁 税務課長

町民税は平成30年度から右肩上

がりで決算の数字が伸びてきていますので、増額の予算を組むのが自然ということで計上しています。

新規事業調査委託料

質疑 事業の詳細説明を求めます。

答弁 企画産業課長

宅地造成の関係の調査や公共事業の高台移転等、重点課題について必要なケースを判断しながら調査をする費用です。

未来投資事業負担金

質疑 事業の詳細説明を求めます。

答弁 企画産業課長

津波被害を受けない高台の宅地整備が課題です。インフラを整備すると、民間で宅地化が進んでいくということが実証されていますので、高台での水道管布設など先行投資を行いたいと考えています。

特定空家除却事業費補助金

質疑 実績及び、予定を説明してください。

答弁 企画産業課長

令和3年度は17件です。令和4年度は15件を予定しています。

質疑 1軒当たり、75万円を上限としています。拡充は考えていませんか。

答弁 企画産業課長

今のところは、現状の75万円を上限とします。

非常用備蓄食糧

質疑 何人分を想定していますか。

答弁 総務課長

パン1万食、ゼリーが1万2千食、水が8千3百本ほどです。5千人の3日分、4万5千食を備蓄食糧として保管しています。

ブロック塀等耐震対策事業補助金

質疑 昨年度より予算が倍増していますが、その理由は。

答弁 総務課長

国・県からの補助が得られるということ、補助率は10分の9となり、上限が40万円です。ただし、3年間限りという事になっていきますので、この機会に活用して頂ければと思います。

質疑 町全体で対策する必要がありますのは何件で、現在どこまで対応できていますか。また、令和4年度の予定はどうなっていますか。

答弁 総務課長

調査の結果、606件が基準不適合でした。既に改善されたのが61件です。今年度の予算で20件を予定しています。

新型コロナウイルスワクチン接種委託料

質疑 町の接種状況を説明してください。

答弁 住民福祉課長

3月6日時点で、2回目接種完了者の73・7%が完了しています。和歌山県で38・7%、御坊保健所管内が33・4%で、県下はもとより全国トップクラスの接種率です。

印南浜西公衆トイレ改修工事設計委託料

質疑 改修内容を説明してください。

答弁 企画産業課長

現在の浜公園の公衆トイレは男女の区別がなく、課題となっていますので、男女別と多目的トイレの設置を予定しています。

印南町農業振興地域整備計画委託料

質疑 委託料の詳細説明を求めます。

答弁 企画産業課長

農業の発展が必要と認められる地域について健全な発展を図ることを目的に定められた計画ですが、20年以上更新されていません。現況及び将来の見通しについて、今回、社会情勢の変化等に適切に対応するために、計画を見直します。

質疑 2年間の継続事業ということでのよいのですか。

答弁 企画産業課長

令和4年度、5年度で完了するという事です。

印南町観光協会補助金

質疑 補助金が増額していますが、その理由説明を求めます。

答弁 企画産業課長

新型コロナウイルス感染症の拡大によって観光事業に影響が出ています。新しい取組として、町内4つの熊野王子で、周遊謎解きツアーを観光協会が主体的に取組みます。

陸上教室開催補助金

質疑 事業の詳細説明を求めます。

答弁 教育課長

オンラインピクメダリストを招いて、未来を拓く子供たちに陸上教室を開催する目的の予算計上です。実際の開催については、今後の新型コロナウイルス感染症の発生状況を見て判断します。

住宅改善事業費

質疑 上道の既設住宅のこととありますが、今年度で終わりといい事でしょうか。

答弁 建設課長

建替事業50戸は完成していますが、元の改良住宅が残り8戸あり、令和4年度では4戸の解体を予定しています。残りは4戸となっています。

地方債の見込み

質疑 令和4年度は約14億円と高額な起債予定となっていますが、返済計画の説明を求めます。

答弁 総務課長

約14億円の起債となりますが、(仮称)防災福祉センターが約8億円というのが大きな事業です。緊急・防災減災事業債の活用を予定しています。

5年間据え置き25年返還ということで考えていますし、交付税措置もありますので、しっかりと注視しながら考えています。

新年度国民健康保険事業特別会計予算

質疑 令和4年度の被保険者数を何人と予定していますか。その中で、法定減免を受ける方の割合を説明してください。

答弁 税務課長

被保険者数は約3千人と考えています。減免を受ける方は約

54・55%と考えています。

質疑 療養給付費の予算が大幅に増額していますが、説明を求めます。

答弁 住民福祉課長

令和2年度に比べて、令和3年度は増額となっています。令和4年度についても引き続き同様の状態とされますので、増額予算計上しています。

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

ロシア軍によるウクライナ侵攻は、国際社会の平和と安全を脅かす断じて容認することができない暴挙であります。

また、ロシアプーチン大統領が、軍事侵攻に際して核兵器の使用を示唆するような報道がありました。このことは唯一の被爆国日本の核兵器廃絶と世界の恒久平和を切に願う思いや、昭和60年に非核自治体宣言を宣言している我々印南町民の思いを踏みにじるものであり、ロシアに対し、ロシア軍の侵攻に厳重に抗議し即時撤退を求めます。また、国においては、国民生活への影響対策に万全を尽くし、国際社会と連携のもと、一日も早い平和的解決に全力で取り組むよう強く要請します。以上決議する。

※決議文は在日ロシア連邦大使館及び内閣総理大臣に送付しました。

議案に対する各議員の賛否

○= 賛成 ×= 反対

種類	議案番号	議案内容	黒	木	岡	谷	中	片	古	杉	玉	榎	前	堀	
			井	村	本		島	山	川	置	本	田	口		
条例	4	印南町個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
	5	職員の給与に関する条例及び印南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	6	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	7	印南町報酬及び費用弁償条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	8	印南町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	
	9	印南町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	23	印南町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
予算	1	令和3年度印南町一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	2	令和3年度印南町一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	3	専決処分事項の承認を求めることについて(令和3年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	12	令和3年度印南町一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	13	令和3年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	14	令和3年度印南町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	15	令和4年度印南町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	16	令和4年度印南町国民健康保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	17	令和4年度印南町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—
	18	令和4年度印南町介護保険事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	19	令和4年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	20	令和4年度印南町農業集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
21	令和4年度印南町同和対策新築家屋貸付金特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
22	令和4年度印南町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—		
他	10	工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
	11	町道路線の認定及び廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
諮問	1	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
発委	1	印南町議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
発議	1	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	

●1月臨時議会…議案1 ●2月臨時議会…議案2 ●3月定例会…議案3～23、諮問1、発委1、発議1

※議長は裁決に加わりません



ここが聞きたい!

黒井 美晴 議員

稲原地区における宅地造成計画について

質問 人口減少対策として、未来に向けた先行投資の住宅・宅

地整備についてお聞きします。

稲原地区の計画については、この2年間検討されている動きが見えてこないように思われます。

地権者からは土地の運用をストップしているのに、計画の立ち消えか等の意見も出ています。

そこで、あらためて、計画の進行具合をお聞きします。

現時点の進捗状況は。

計画遅れの要因はどこにあるのか。

・地権者及び地域住民に計画を周知されては。

・今後のスケジュールは。

答弁 企画産業課長

宅地整備の売出し価格を坪単

価7万円から8万円台と値段設定をしながら調査検討をしてきました

ましたが、その金額に抑えるこ

とが困難と判明しました。よって、事業化については難しい判断です。

河川改修5か年計画について

質問 気候変動、毎年のゲリラ

豪雨による災害も後を絶たず区民の安全・安心を脅かしています。

河川における氾濫の要因は、堆積土砂により河川が浅くなっていることも大きい要因の一つと考えます。

そこで、町として、河川の現状を把握されていますか。

答弁 建設課長

当事業は近年、台風等による

河川氾濫等の大規模な浸水被害が相次ぐ中、維持管理のための

河川の浚渫（堆積土砂の撤去）が重要となることから、令和2

年から令和6年の5年間において地方財政措置が創設されました。

印南町においても、令和2年度から印南川では、旧庁舎前

から印南水源前まで、また印

南原地区については奈良井川で実施しています。切目川においては、切目橋からJR橋間や羽六、及び古井地区で浚渫を実施し、適切な河川の維持管理を図っているところです。

引き続き、地元の意見を聞きながら、河川管理者である県に対し浚渫の要望をしていきます。

質問 印南川上流においても、区民から何か所も堆積土砂の撤去要望が数多く上がっていると思いが、区民の安全・安心のためにも強く県に働きかけを願います。

雨の量が年々増えている今日、印南町における流域治水対策は、一日でも早く実施して頂く働きかけを、県に対し

強くお願いしていただけないか。

答弁 建設課長

印南町において、切目川流域治水プロジェクトが策定されて

おり、洪水氾濫対策である切目川河川改修事業、これを軸に、

溪流保全として砂防堰堤事業、また、流域の流水の貯水機能の

拡大として、切目川ダムの事前放流など多岐にわたり整備が進められています。

印南川においても同様に、滝ノ口の芝中谷川砂防事業や印南地区にある片見

谷池のため池防災工事が進められるなど、各分野で流域治水に取り組んでいます。



ここが聞きたい!



谷 章資 議員

ふるさと納税について

質問 都市から地方へ送るふるさと納税が広く国民に認知され、それぞれの自治体はいろいろな工夫をし、寄附金を募っています。和歌山県内の各市町村においてもそれぞれ知恵を絞って寄附を募っていますが、寄附金の格差が顕著になってくるという新たな問題が起こってきています。

日高地方においても御坊市が9億6,000万円、美浜町は10億3,000万円の寄附金が寄せられました。印南町は3月7日現在で8,251万5000円の寄附にとどまりました。同じ日高地方の自治体であるにもかかわらず、このような寄附金に格差が生じるのはなぜですか。

令和3年度の目標額とふるさと納税への取組を教えてください。

答弁 企画産業課長

令和3年度の目標額は1億円ですが、目標達成は厳しい状況となっております。残された期間、鋭意努力していききたいと思えます。

御坊市や美浜町との間に大きな開きがあるとのこと指摘ですが返礼品の数と、ポータルサイトの登録数が本町より多いことが要因だと考えます。そこで本年は取扱店舗を19件から41件に増やし前年度3,100万円から8,200万円まで寄附額を増やしたところです。

今後、更に取り組みを強化し目標の1億円を達成するため努力していきます。

質問

ホームページの閲覧数を増やすことも大事ですが、商品の写真の撮り方や、インターネットの発信の仕方を工夫することが、より大切だと考えます。

また、印南町は1億円を目標としています。人口500人未満の北山村のふるさと納税額は今年度6億円余であります。我が町でも目標額を1億円といわず、さらに上を目指した金額を設定してはどうですか。

答弁 企画産業課長

ご指摘の通り、サイトの内容を工夫し、より多くの方に寄附金を持って頂き、より多くの寄附金を寄せて頂けるような仕掛けづくりに取り組んでいきます。寄附を集めるポイントをよくご存じの方からお話を伺ってみたり、システム上の様々な操作等の情報もいただいています。さらに、寄附額が集まる対策について強化を図っていききたいと考えています。

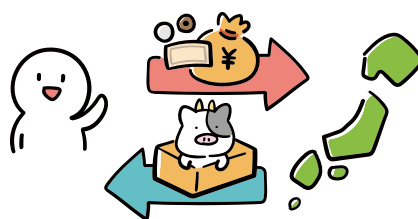
目標額として来年度予算は1

億円を設定していますが、2億、あるいは3億、5億、10億とさらに高い山を登っていききたいと考えています。

今年度、ふるさと応援寄附金

推進プロジェクトチームを立ち上げてより多くの方々から寄附をしていただける仕組みづくりに取り組んでいきます。

ふるさと納税





ここが聞きたい!

片山 智文 議員

避難道の整備に ついで

質問 町道東光寺光川線は、本郷地区の新しい避難道としての合流部分でもあります。トンネルとの兼ね合いで全線拡幅ができず、途中からは幅員が狭く、路面が荒れ、支障木もあるため、車椅子やベビーカーでの避難は困難です。一人でも多くの方が円滑に避難できるよう避難行動要支援者に関する対策を講じて頂けないでしょうか。

答弁 建設課長
避難道整備については、東日本大震災後の平成24年度から、町長の一人の犠牲者も出さない、出させないとの強い思いから、まずは津波から命を守る対策として沿岸部の整備に取り組んできました。今後、頂上部分の舗装や排水対策を、地元自主防災会等と検討していきます。

避難所の備え について

質問 南海トラフ大地震は、今の瞬間に起きても不思議ではありません。避難先において、雨風をしのげるようなテント、お年寄りや力の弱い女性でも簡単に作れるエアシエルトー、防寒対策などの準備はありますか。

答弁 総務課長
避難所の災害用備蓄として、町内8か所へ防災備蓄倉庫を設置し、防寒対策としてのワンタッチ式のテントや仕切りの配備もあります。各自自主防災会の

テントがあるという安心感
は、車を避難場所代わりに利用しようとして車で移動する方の渋滞を防ぎ、それにより、津波に巻き込まれる被災者の減少に繋がると思います。

先日、印南町が地元優良企業ナカエ様と、物資協定を締結されたと伺いました。我々住民にとつては誠に有難い事です。

資機材の整備費用を補助しており、災害用備蓄を計画的に進めたいと考えています。

災害廃棄物処理場所について

質問 災害廃棄物処理については、どこが集積所になるのか決まっていますか。初期対応、中期対応についても、教えていただけますか。

答弁 生活環境課長
災害廃棄物処理については、①生活ごみ、②し尿、③災害ごみ（家具類・電化製品等と津波堆積物等）の3種類に分類して処理計画を立てています。

⑤印南中学校運動場、⑥切目中学校運動場、⑦光川コミュニティセンター前、⑧弘龍庵駐車場

質問 2017年の紀伊半島大水害の時、日高川の氾濫による、食料品の腐敗臭問題があったとの事です。衛生問題、伝染病発生抑制など、ペストコントロールも重要な対策の一つです。案として、印南防災広場に置くのは如何でしょうか。

答弁 生活環境課長
8か所はあくまでも候補地ですので、仮置場の選定につきましては、関係者等と十分協議の上、選定していきます。防災広場については、使用可能かどうかを今後検討して参ります。

答弁 総務課長

仮置き場候補地は8か所選定しています。

①切目川中学校の跡地、②印南漁港の本郷側、③印南漁港の浜西側、④印南小学校運動場、



ここが聞きたい!



榎本 一平 議員

気候危機のもとでの行政の役割を問う

質問 猛暑など異常気象が多発し、気候危機と呼ぶべき非常事態になっており、今後10年間で二酸化炭素排出量を半分に削減できるのかどうか、にかかっています。

町の温暖化対策として町自らの事務・事業からの排出削減計画と区域全体の再エネ、省エネ推進などの計画がありますが、この2つの計画の取組の現状は。

答弁 生活環境課長

二酸化炭素排出量を抑制するための計画は平成25年度に策定し取組んでいます。照明器具、空調、ごみの減量などに取組むことになっていきます。再エネ、省エネ推進などの計画は努力義務となっており、未策定です。

質問 令和4年度から「脱炭素化事業」として、太陽光発電の

導入などに有利な財政措置が図られます。令和7年度までの期間ですが、行政で活用できるものはないですか。

答弁 生活環境課長

各課と協議し実施の時は有利な財源を優先して充当します。

質問 全国で空き家率が高い県として和歌山県が2位です。平成27年5月に空き家等の対策のための特別措置法ができています。空き家の状況はどうですか。

答弁 企画産業課長

町内での調査は行ったことはありません。所有者、近隣住民、区長等からの情報提供を受けて実態把握を行っているのが現状です。

町独自の「空き家対策条例」を制定してはどうか

質問 全国で自治体独自で空き

家の管理を行えるように「空き家対策条例」を制定し、「緊急

安全措置」を作成して対応する市町村が増加しています。周辺住民の安全のために町独自の「空き家対策条例」を制定してはどうか、という提案です。

答弁 企画産業課長

町が把握している空き家は所有者への働きかけを積極的に行い対応しています。関係者、地元区との連携を図りながら取り組みます。条例制定については至っていない認識です。

切目川のショートカット部分の対応で改めて地元への説明を

質問 切目川の西

ノ地内のショートカット部分は地下からの湧き水もあり、水がたまっていました。現在では赤茶色にごった状態です。対応については説

明会なども行われましたが、放置された状態です。県に対し説明に来るように要請を求めます。

答弁 建設課長

この計画は地元の見聞いた上で平成30年に地元説明を行った計画から変更はありません。

地域のみなさんの不安を解消する必要があり、早期完成に向け要望活動の中で事業状況についても説明を要請していきたいと思えます。





ここが聞きたい!

木村 栄一 議員

森林環境譲与税について

質問 この税は気候変動対策の一環として設けられ、森林整備や国土保全のため、令和元年度より始まりました。間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされています。

本町でもその趣旨に沿って森林経営管理意向調査や、支障木の除去、木製備品の購入に使用されています。その一方、「森林環境譲与税活用基金積立金」として約5割強積み立てています。町長の令和4年度の施政方針の中の林業振興で、紀中地域林業躍進プロジェクト推進協議会において、スマート林業を展開していくという前向きな考えを述べられていました。そこで、この積立金の使途計画をお聞かせください。

答弁 企画産業課長

使途計画ですが、議員が述べられた以外に塩害防備、保安林

の維持費用、町内産の木材利用。その中でも特にスマート林業の活用を検討していきたいです。

質問 令和4年度で積立金を活用してのスマート林業についてお聞かせください。

令和4年度で積立金を活用してのスマート林業についてお聞かせください。

答弁 企画産業課長

航空レーザー測量や森林情報のクラウド等スマート林業を展開していきます。

質問 私はこの森林環境譲与税を積極的に活用してほしいという立場です。町としてどうでしょうか。

私はこの森林環境譲与税を積極的に活用してほしいという立場です。町としてどうでしょうか。

答弁 企画産業課長

防災を含めた支障木の除去、木材利用の促進等、この税の内容、財源を担保とした施策の構築等検討を進めていきたいと考えています。

遊休農地等の取組について

質問 多様な取組を行っても遊休農地が年々増加しております。大変悩ましい問題ではありますが、町として今後どのような計画をお考えでしょうか。

多様な取組を行っても遊休農地が年々増加しております。大変悩ましい問題ではありますが、町として今後どのような計画をお考えでしょうか。

答弁 企画産業課長

遊休農地を増やさないということで、あらゆるアンテナをたてながら農業委員会あるいは推進委員さんにご協力をいただき取り組んでいます。今年度、来年度で人・農地プランの策定、農業振興地域の整備計画の更新を予定しており、その中でこの問題に取り組んでいきたいと考えています。

えています。

質問 農地中間管理事業のマッチング事業の現状についてお聞かせください。

農地中間管理事業のマッチング事業の現状についてお聞かせください。

答弁 企画産業課長

令和2年度の実績、37万119㎡（令和元年度より9,889㎡増加）で、約1ha実績が増えている状況で、JA紀州管内では、令和2年度実績が86万1,849㎡（令和元年度より20万2,324㎡増加）、和歌山県内ではトップとなっています。





岡本 庄三 議員

印南町における産業維持施策の実施について

質問

新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況が続いており、全国的にも経済状況の悪化が大きな問題となっております。このことは、印南町でも例外ではなく、地域産業に与える影響は大きく店舗の縮小や廃業する方の話も耳にします。これまでも印南町では国の施策に基づいた給付金や町独自の各種対策を講じています。これらの施策は町民の消費喚起や飲食店等への支援という観点からは一定の効果は期待できますが、農業、漁業、商業等個人の経営体を維持するための効果は低いように思います。このままでは、コロナ禍が収束する前に、印南町の産業は衰退してしまいます。私は、印南町独自の産業を維持するための経営体支援施策を大胆かつ速やかに実施する必要がありますかと思えます。

現在の状況下においては、これまでの施策とちがう観点から、印南町の産業を維持し、事業者を救済するため、財源の重点配分をおこない大胆な支援策を緊急に実施する必要があると思えますがいかがですか。

大前提として財源確保というような、予算を運用する、そういうことが非常に求められていますので、今後もそういうことについては国・県の動向を注視しながら、より印南町の住民さん、あるいは事業主さんに効果的な施策を展開していく、そういうことについてもアンテナを張りながら取り組んでまいりたいと考えています。

答弁 企画産業課

効果的な事業をタイムリーに実施するためには、財源が必要です。印南町には「安全安心基金」があります。(令和2年度決算書では約19億7,500万円)先に述べたように、

質問

効果的な事業をタイムリーに実施するためには、財源が必要です。印南町には「安全安心基金」があります。(令和2年度決算書では約19億7,500万円)先に述べたように、

コロナ禍における町産業への影響は「災害級」です。「漁業振興基金」を取り崩し、漁業従事者限定で支援する必要もあると思えます。元氣にかえる応援券第3弾もいいですが、現時点の状況をしっかり把握し、過去の事業の繰り返しではなく、今こそ「安全安心基金」を財源とし、追加的な措置、対策を講じるため「印南町産業維持支援給付金事業」を創設し、実施してはいかがですか、これまで、印南町をささえてきた骨格である産業が消滅する危機的な状況にあります。時間的な余裕はありません。いかがですか。

答弁 企画産業課

議員ご提案の安全安心基金という基金の財源を担保にということご提案は、一つのご意見ということで承らせていただきます。



人と地域を、花と木々で結ぼう!!

印南町ボランティア団体

稲原さんぽ道の会



結成時期・経緯

発足は平成28年3月。現在会員20名で、印南原地区や住民近隣の方々であればいつでも入会できます。最初は、この稲原に何か楽しませる場所はないだろうか。そうしたら、もつと人が集まるだろうにとの小さな想いからでした。発足より毎年イベントを重ね、自然を愛する人、花が好きな人、老若男女、小さな子供たちが参加し地区外からの参加者も増えました。



オンツツジ (みつばツツジ)

活動内容

四季の花々、自然の山々を活かした地域の景観づくり活動を通して、次世代の若者を含めた地域住民の交流を促進し、住民の関心と参画意識を高め、地域の活性化を図ります。

一言

私たちの活動が続けていけるのは、この稲原に生まれ育ってきた人々が地元に着愛を持って、地域の活性化に何か協力したい、貢献したいとの想いからです。これから先も、若者や子供たちが知恵を出し合い、この活動を引き継いでいってほしいと思います。この稲原で人々が季節の木々、花々を愛で溢れるような素敵な地元、地域にしていけたらと思いい活動を続けます。

(代表・吉岡 登)

掲載団体募集のお知らせ

裏表紙で紹介する町内の団体を募集しています。掲載を希望する団体は広報特別委員会までご連絡をお願いします。

議会広報特別委員会

- 委員長 前田 憲男
- 副委員長 中島 洋
- 委員 黒井 美晴 / 谷 章資 / 片山 智文 / 古川 眞